※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史探究(山川出版社)						
副教材等	・アカデミア世界史（浜島書店） ・詳説世界史授業用整理ノート（山川出版社） ・新世界史研究ノート応用編（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史探究は、世界の歴史に関する諸事象について、地理的条件や日本の歴史、資料等を活用してまとめる科目です。以下に世界史探究における学習目標をあげておきます。

一つ目の目標は知識と技能の習得です。世界史探究では世界の各地域、各時代の特徴を理解することを目的としています。また技能とは、様々な資料から歴史に関する情報を選び出して効果的にまとめる力のことです。理解を深めるために日本の歴史や地理に関する情報を組み合わせることもあります。

二つ目が思考力、判断力、表現力を培うという目標です。歴史探究で示す思考力、判断力、表現力とは、主題について考察する力を指します。具体的には、ある国の成り立ちについて主題を設定し、近隣諸国や古代の国家の形成過程について、その意味や意義について説明、表現等ができる、といった力のことです。また思考力、判断力、表現力は、世界史だけでなくあらゆる学力にも直結しています。

三つ目の目標は、学びに向かう力と人間性の醸成です。主体的に学びが得られる歴史探究を進めることでやる気が高まり、「もっと学びたい」と感じるようになります。自分で決めた問いに向かって学習を進めることで、モチベーションを保ちながら学びを得られるようになります。

四つ目の目標は、歴史を読み解く力を身につけるということです。歴史探究における歴史の読み解きとは、現代世界との結び付けを意味します。国、時期、年代、背景などあらゆる事象から類似点や相違点を考え、現在の世界にどのような影響を及ぼしているのかを理解する力が身に付きます。

五つ目の目標は、情報活用力を鍛えるということです。世界史探究で活用する情報は、新聞や雑誌、絵画や地図、写真等様々あります。探究活動を通じて、それぞれの資料を必要に応じて比較検討する習慣が備わり、情報を上手に活用する力が身についていきます。情報活用力は社会に出ても活かせる部分であり、学校教育の間に鍛えておくべき能力の１つです。

2　学習の到達目標

・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているか。 諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能が身についているか。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察しているか。 歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力が身についているか。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度が身についているか。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などが深まっているか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名			学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
						知(a)	思(b)	主(c)
第1学期	第Ⅲ部　諸地域の結合・変容	第12章　産業革命と環大西洋革命		①メディアの発達に関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする。 ②メディアが人々の生活や社会におよぼした影響を考察する。	a. 資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 b. 諸地域の結合・変容に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の結合・変容を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 c. 諸地域の結合・変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究
			1　産業革命	①海外貿易が近世ヨーロッパ経済の動向に与えた影響を理解する。 ②イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③16 世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係について理解する。	a. 産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。 b. 当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c. イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究

※令和４年度以降入学生用

			２ アメリカ合衆国の独立と発展	①北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の地理的分布とその推移を理解する。 ②独立直後と今日のアメリカ合衆国を比較し、共通点と相違点を理解する。 ③アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	a. アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している。 b. アメリカ独立宣言や「権利の章典」（第 11 章4節）などの資料をもとに、アメリカ合衆国独立の独自性を多面的・多角的に考察し表現している。 c. アメリカ合衆国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究
			３ フランス革命とナポレオンの支配	①革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。 ②人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。 ②ナポレオンの支配に対する人々の反応を多面的・多角的に考察し表現する。	a. フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。 b.「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。 c. フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究
			４ 中南米諸国の独立	①ハイチ革命の特殊性について、環大西洋革命の他の事例と比較したうえで理解する。 ②中南米諸国の独立運動に共通する点を理解する。 ③中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係を多面的・多角的に考察し表現する。	a. 中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している。 b. 中南米諸国の独立年を示す地図などをもとに、ヨーロッパ情勢をふまえたうえで、短期間に多くの独立が達成された要因を多面的・多角的に考察し表現している。 c. 中南米諸国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究

※令和４年度以降入学生用

		第13章　イギリスの優位と欧米国民国家の形成	1　ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動	①ウィーン会議の参加者たちがどのような国際秩序をめざしていたかを理解する。 ②ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ③19 世紀イギリスの政治変革の特徴について、大陸諸国と比較したうえで理解する。 ④イギリス・フランス・ドイツにおける社会主義思想をそれぞれ比較したうえで理解する。 ⑤1848 年革命の展開と影響について、ヨーロッパ内の地域差に着目して多面的・多角的に考察し表現する。	a. 19 世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848 年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。 b. ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c. ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究
			2　列強体制の動揺とヨーロッパの再編成	①クリミア戦争におけるロシア・イギリス・フランスのそれぞれの思惑を理解する。 ②19 世紀後半におけるロシア・イギリス・フランスの諸改革の相違点を理解する。 ③ドイツとイタリアの国民国家成立を比較し、共通点と相違点を理解する。 ④ドイツ帝国におけるビスマルクの諸政策の動機を多面的・多角的に考察し表現している。 ⑤北欧諸国の安定性について、周辺諸国と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。 ⑥19 世紀後半にさまざまな国際運動が進展した背景を理解する。	a. 19 世紀後半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、時代的な背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。 b. 鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをもとに、19 世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景を多面的・多角的に考察し表現している。 c. 19 世紀後半のヨーロッパの再編成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究
			3　アメリカ合衆国の発展	①領土拡大がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②南北戦争において北部が勝利した要因を理解する。 ③アメリカ合衆国の歴史において移民が持つ意味を多面的・多角的に考察し表現する。	a. 南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。 b. アメリカ合衆国の領土拡大を示す地図や大陸横断鉄道開通の写真などの図像資料をもとに、アメリカ合衆国の急速な発展の要因を多面的・多角的に考察し表現している。 c. アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究

※令和４年度以降入学生用

			４　19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	①19 世紀欧米文化における担い手や展開された場(空間)の推移を理解する。 ②国民文化と国民国家形成との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ③近代諸科学の発展の要因とその成果が広まった背景を理解する。 ④大都市文化が都市の景観に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	a. 19 世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を理解している。 b. 19 世紀欧米文化のさまざまな事例をもとに、この時期の文化と現代の文化とのつながりを多面的・多角的に考察し表現している。 c. 19 世紀欧米の文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究
		第14章 アジア諸地域の動揺	１　西アジア地域の変容	①オスマン帝国の動揺の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ②オスマン帝国の列強への経済的な従属化の経緯を理解する。 ③オスマン帝国の改革の成果と課題を理解する。 ④ロシアとイギリスの競合関係が西アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	a. オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。 b. マムルークの一掃を表した図像資料やオスマン帝国憲法などの資料をもとに、この時期のアジア各地での変化や改革について多面的・多角的に考察し表現している。 c. 西アジアの変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究
			２　南アジア・東南アジアの植民地化	①ヨーロッパ各国の東インド会社が南アジアでおこなった活動の状況を理解する。 ②イギリス東インド会社の機能の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ③東インド会社の統治と比較したうえで、イギリスによるインドの直接統治の特徴を理解する。 ④東南アジアの植民地化の経緯を理解する。 ⑤タイが植民地化されなかった要因を多面的・多角的に考察し表現する。	a. ヨーロッパ各国による南アジアと東南アジアの植民地化の経緯を理解している。 b. 東南アジアの植民地化の地図やゴムのプランテーションを示した図像資料をもとに、ヨーロッパ各国の進出の経緯をふまえ、南アジアと東南アジアにおける植民地化と世界経済の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 c. 南アジア・東南アジアの植民地化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究

※令和４年度以降入学生用

			３ 東アジアの激動	①清朝の危機の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ②中国の開港の背景および開港の進展の経緯を理解する。 ③清朝による国内秩序の再建の試みについて、その成果と課題を理解する。 ④東アジア各地の開港および貿易の拡大がもたらした影響を理解する。 ⑤欧米諸国の進出と日本の台頭が東アジア諸国間の関係に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	a．欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。 b．文字資料「マカートニーの 1794 年1月の日記」やアヘン戦争を描いた図像資料、東アジアの開港場を示した地図などをもとに、この時期の東アジア国際秩序の変容について多面的・多角的に考察し表現している。 c．東アジアの激動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究
第２学期		第15章 帝国主義とアジアの民族主義	１ 第2次産業革命と帝国主義	①新しく生まれた電気・化学製品が人々の日常生活に与えた影響を理解する。 ②帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ③各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。 ④この時期に国際労働運動が再燃した背景とその特徴を多面的・多角的に考察し表現する。	a．第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。 b．国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。 c．第2次産業革命と帝国主義について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究
			２ 列強の世界分割と列強体制の二分化	①列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容を多面的・多角的に考察し表現する。 ②列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。 ③独立後のブラジル・アルゼンチン・メキシコがたどった道を比較し、共通点と相違点を理解する。 ④20 世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を多面的・多角的に考察し表現する。	a．列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。 b．列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c．列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究

※令和４年度以降入学生用

			３ アジア諸国の変革と民族運動	①日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②改革をおこなったにもかかわらず清朝が倒れた原因を理解する。 ③インドにおける民族運動の社会的背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ④東南アジア各地の民族運動に共通する傾向を理解する。 ⑤西アジア各地における民族運動の共通点を理解する。	a. アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 b. アジア各地の情勢や梁啓超「中国積弱の根源について」などの資料をもとに、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。 c. アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究
		第16章 第一次世界大戦と世界の変容	１ 第一次世界大戦とロシア革命	①バルカン半島で緊張が高まった背景を理解する。 ②歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を多面的・多角的に考察し表現する。 ③戦時外交および総力戦の特徴を理解する。 ④第一次世界大戦がもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤ロシア革命の経緯を理解し、その歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。	a. 第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。 b. 塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。 c. 第一次世界大戦とロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究
			２ ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	①第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯を理解する。 ②西欧諸国における第一次世界大戦後の展開を多面的・多角的に考察し表現する。 ③国際協調をめぐる 1920 年代の前半と後半の変化を理解する。 ④イタリアにおけるファシズム体制成立の背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤東欧・バルカン半島の新興国が直面した困難と、それに対応すべく築かれた体制を理解する。 ⑥1920 年代のソ連とアメリカのそれぞれの国内情勢を理解する。	a. 第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。 b. 各国の国内情勢を写した図像資料や「十四カ条」などの資料をもとに、1920 年代の欧米各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。 c. ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究

※令和４年度以降入学生用

			３　アジア・アフリカ地域の民族運動	①第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②日本の勢力拡大に対する中国・朝鮮の人々の対応を多面的・多角的に考察し表現する。 ③南京国民政府による中国統一達成までの経緯を理解する。 ④第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯を理解する。 ⑤第一次世界大戦による西アジアの政治地図の変化を理解する。	a．第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。 b．民族運動の様子を写した図像資料や胡適「文学革命についての書簡」などの資料をもとに、アジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を多面的・多角的に考察し表現している。 c．アジア・アフリカ地域の民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究
		第17章　第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	１　世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊	①世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②ニューディール政策およびブロック経済の特徴や世界経済への影響を理解する。 ③ナチス＝ドイツの体制が成立する経緯とその政策内容を理解する。 ④ソ連の計画経済が資本主義諸国に与えた影響を理解する。 ⑤日本と中国が全面戦争へいたった背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑥ファシズム諸国の攻勢が国際政治に与えた影響を理解する。	a．世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。 b．政治的なポスターなどの図像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を、またナチ党の全国党大会の図像資料や㊫介石「盧溝橋事件に関する盧山談話」の文字資料などをもとにファシズム諸国や日本の動きについて、多面的・多角的に考察し表現している。 c．世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究
			２　第二次世界大戦	①開戦直前における各国のナチス＝ドイツへの対応を多面的・多角的に考察し表現する。 ②ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開を理解する。 ③独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ④第二次世界大戦の終戦までの経緯を理解する。 ⑤第一次世界大戦と比較したうえで、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。	a．第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。 b．戦場を写した図像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 c．第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究

※令和４年度以降入学生用

			３ 新しい国際秩序の形成	①戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのかを理解する。 ②冷戦開始および東西ヨーロッパ分断の進展について、それぞれの経緯を理解する。 ③国民党が共産党に敗れた原因を多面的・多角的に考察し表現する。 ④朝鮮戦争が東アジアの国際情勢に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤東南アジアおよび南アジアの独立の背景や経緯を理解する。 ⑥現代の中東問題の要因を多面的・多角的に考察し表現する。	a．第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。 b．各国の様子を写した図像資料や「中華人民政治協商会議共同綱領」などの資料をもとに、戦後国際秩序下の各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。 c．第二次世界大戦後の国際秩序について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究
第３学期	第Ⅳ部 地球世界の課題	第１８章 冷戦と第三世界の台頭	１ 冷戦の展開	①米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯を理解する。 ②冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③西欧と日本の経済復興の背景をそれぞれ理解する。 ④スターリン死後のソ連と東欧における変化を多面的・多角的に考察し表現する。	a．冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。 b．先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。 c．冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究
			２ 第三世界の台頭とキューバ危機	①自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのかを理解する。 ②アフリカなどの新興国が直面した困難の内容とその原因を理解する。 ③キューバ革命の背景および影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ④国際社会が核兵器の制限に取り組むようになった経緯を理解する。	a．冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。 b．当時の世界情勢をふまえたうえで「カストロによる第2次ハバナ宣言」などの資料をもとに、キューバ革命が国際社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c．第三世界の台頭とキューバ危機について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究

※令和４年度以降入学生用

			3 冷戦体制の動揺	①国際情勢との関係をふまえたうえで、米ソ代理戦争としてのベトナム戦争の性格を理解する。 ②1960年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容を多面的・多角的に考察し表現する。 ③ヨーロッパにおいて緊張緩和が進展した経緯を理解する。 ④ソ連のスターリン批判が中国へ与えた影響を理解する。 ⑤第三世界における開発独裁の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。	a. ベトナム戦争をはじめとする 1960 年代以降の冷戦体制の動揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。 b. 1960 年代の各地の様子を写した図像資料や「チェコスロヴァキア共産党行動綱領」などの資料をもとに、冷戦の動揺が各地にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c. 冷戦体制の動揺について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究
		第19章 冷戦の終結と今日の世界	1 産業構造の変容	①経済成長にともなう先進諸国の政策・社会の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ②1970 年代初頭に世界経済がいかなる転換を迎えたのかを理解する。 ③オイル＝ショックが各国の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ④1960～1970 年代の中東における変容の経緯を理解する。 ⑤1970～1980 年代に進んだ開発途上国の工業化の経緯を理解する。	a. 1960～1980 年代の各国の経済や社会の状況を、経済構造の変化をふまえて理解している。 b. 原油価格の推移や経済成長率の推移などの統計資料をもとに、オイル＝ショックが世界の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c. オイル＝ショックとその影響について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究
			2 冷戦の終結	①1970 年代後半から 80 年代前半において米ソがそれぞれ追求した対外政策の内容を理解する。 ②ソ連で始まった改革と東欧革命との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ③東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。 ④ゴルバチョフの改革が挫折した原因を多面的・多角的に考察し表現する。	a. 冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。 b. 1990 年前後の各地の様子を写した図像資料などをもとに、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 c. 冷戦の終結について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究

※令和４年度以降入学生用

			３ 今日の世界	①旧社会主義国で起こった民族運動や民族対立の特徴を理解する。 ②冷戦終結後の東アジア諸国の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ③今日の東南アジア・南アジア諸国においていかなる政治的・経済的変化が生じているのかを理解する。 ④冷戦終結後のアフリカが有する課題と可能性を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤冷戦終結後も続く地域・民族紛争の背景や経緯を理解する。 ⑥経済における世界の一体化の経緯を理解する。 ⑦21 世紀初めにアメリカ合衆国がおこなった戦争の背景や経緯を理解する。 ⑧今日の国際関係の特徴と、必要とされている協力の内容を多面的・多角的に考察し表現する。	a. 冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。 b. 各地の状況を写した図像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。 c. 今日の世界が抱えている課題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究
			４ 現代文明の諸相	①20 世紀以降の科学技術の革新が人々の生活に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②現代思想・文化における新しい潮流の内容を理解する。 ③両性の同権化の進展について、その経緯と残されている課題を理解する。	a. 現代思想・文化の特徴をそれまでの文化・思想と比較したうえで理解している。 b. 芸術作品を示した図像資料やジェンダー＝ギャップ指数を示した統計資料などをもとに、人々の世界観や生活のありようの変化を多面的・多角的に考察し表現している。 c. 現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究

※令和４年度以降入学生用

			地球世界の課題の探究	①「紛争解決や共生」「経済格差の是正や経済発展」「科学技術の発展や文化の変容」といったテーマにおける課題の追究や解決のために、適切かつ効果的に諸資料を活用し、歴史的経緯をふまえて、地球世界の課題を理解している。 ②地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に主体的に探究しようとする態度を養っている。	a. 設定した課題の追究や解決のために、適切かつ効果的に諸資料を活用し、歴史的経緯をふまえて、地球世界の課題を理解している。 b. 地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c. 地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出 授業観察 課題研究

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度